



## GE と独立行政法人 物質・材料研究機構（NIMS）

### 「研究協力に関する主契約」を締結

- より優れた製品提供を可能にすべく先端素材における共同開発を促進 -

GE（本社：米国コネチカット州フェアフィールド）と独立行政法人 物質・材料研究機構（本部：茨城県つくば市、以下「NIMS」）は、6月30日、3年間の「マスター・リサーチ・アグリーメント（研究協力に関する主契約）」を締結しました。本契約に基づき、GE と NIMS は、最新の材料科学技術における共同研究を進め、将来の実用化を視野に入れ連携を促進いたします。

2009年5月、GE と NIMS は、よりクリーンで、より持続可能なエネルギー・ポートフォリオ、および環境関連技術の促進に貢献する材料科学エンジニアリング分野における、将来的なプロジェクトを見つけ出すことを目的として、技術連携に向けた MOU を締結しました。

本 MOU の一環として、GE の研究開発を担う GE グローバル・リサーチ（本部：ニューヨーク州ニスカユナ）の技術者と NIMS 間において、技術交流や共同作業が行われるようになり、双方が直面する技術課題やニーズ、それらを解決できると考えられる最先端技術などにおける相互理解を深められたことが、今回の主契約の締結に至った主な要因となっています。

GE では、世界 100 か国以上で事業展開する GE の豊富な経験やネットワークと NIMS が誇る物質・材料研究における世界有数の科学的知見とを融合することで、良い素材・材料を最大限活用した優れた商品の実用化につなげる道が拓けることを期待しています。

NIMS では、多様な分野でグローバルな事業展開を行う GE から、材料に求められる特性やニーズの提案を受け、ニーズにマッチした材料科学研究が効率的に行えると共に、NIMS 開発材料が社会に貢献できることを期待しています。

今後、本契約をベースとして、従来のコーティング技術における課題となっていた耐酸化性と緻密性を両立するプロセスの開発をはじめとする様々なプロジェクトにおいて、実用化に向けた技術連携を加速する予定です。

## GEについて

GEは、世界各国においてインフラストラクチャーおよび金融の分野で事業を展開し、世界が直面している困難な課題の解決に貢献しています。航空機、発電をはじめ、金融サービスやヘルスケア・ソリューション、石油・ガス、鉄道事業にいたるまで、幅広い商品とサービスを、世界 100 力国以上のお客さまに提供しており、約 30 万人の従業員を擁しています。詳細は、GE のホームページをご覧ください。GE は、日本においても 100 年以上にわたって事業展開しており、社員は約 5,000 人を数えます。日本における GE の事業・活動等については、<http://www.ge.com/jp/> をご覧ください。

## 独立行政法人物質・材料研究機構（NIMS）について

物質・材料研究機構（NIMS）は、材料科学に関する研究開発を行う日本で唯一の独立行政法人で、次世代に求められる物質・材料研究を俯瞰し「明日を創る材料研究」をテーマに運営されています。2001 年 4 月に金属材料技術研究所（NRIM）と無機材質研究所（NIRIM）が統合され、発足した NIMS は、材料科学分野での基礎研究や開発を総合的に管理推進し、この分野における専門分野のレベルアップを目指しています。このため、NIMS は日本及び世界各国における各研究機関との連携を深めてきました。NIMS には、茨城県のつくば市を中心に、国内に複数の事業所があります。また、事業所の一部では特定の研究開発を重点的に行う拠点も有し、国際的な活動を展開しています。職員数は 1,454 名（2011 年 6 月 1 日現在。定年制職員以外も含む）です。NIMS の事業・活動等については、<http://www.nims.go.jp/index.html> をご覧ください。

### 【問い合わせ先】

#### 日本 GE コーポレート・コミュニケーション本部

Tel : 03-3588-9500

または、日本 GE 広報代理（ボックスグローバル・ジャパン株式会社内）杉山/田邊/フット

Tel : 03-6204-4320

#### 独立行政法人物質・材料研究機構 企画部門 広報室

Tel : 029-859-2026

なお、連携内容に関するお問い合わせについては、外部連携部門 研究連携室（Tel : 029-859-2600

Fax : 029-859-2500）にて対応させていただきます

## 【別添資料】

### <「GE グローバル・リサーチ」について>

GE グローバル・リサーチは、GE のあらゆる事業部門の技術開発の中核です。GE の研究者、エンジニアは、不可能を可能にし、ビジネスの成長を推進し、そして、世界が直面する困難な課題の解決に取り組んでいます。

GE グローバル・リサーチはニューヨーク州ニスカユナ、インドのバンガロール、中国の上海、ドイツのミュンヘンの開発拠点において 24 時間体制でイノベーションを続け、さらに 2012 年にはブラジルのリオデジャネイロにも新たな拠点を設立する予定です。

GE グローバル・リサーチの詳細については、[www.ge.com/research](http://www.ge.com/research) (英語) をご覧ください。

日本における活動および GE グローバル・リサーチ・ジャパンについては、<http://www.ge.com/jp/company/technology/grij/index.html> をご覧ください。

### <「ジャパン・テクノロジー・イニシアチブ (JTI)」について>

GE は日本企業との技術連携を重要な戦略の一つとして位置付けており、2004 年に技術面での相互補完的なパートナーシップ構築を促進するプロジェクト「ジャパン・テクノロジー・イニシアチブ」(以下 JTI) を展開しています。大企業から中小企業まで規模を問わず、相互にとってメリットのある技術協業を模索し革新的な製品・サービスを世界に届けるための活動を行っています。2007 年 10 月の開催に続き、2009 年 5 月には、国内の中小企業との技術協業を模索するための試みとして 2 度目となる「ジャパン・テクノロジー・フォーラム」を開催しました。

事前に応募のあった国内の技術企業の中から GE が選抜した 20 社が出展参加し、技術協業に関する交流を行っております。

また、2008 年 9 月からは、GE としては世界初となる試みとして、GE の Web サイトを活用した日本企業からの技術協業の公募も行っています。

詳細は、日本 GE ホームページ内のイノベーションの取り組み：

(<http://www.ge.com/jp/company/technology/index.html>) をご覧ください。